

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと



常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>

※今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として一般質問の時間を一人30分以内に短縮して行いました。

※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。



岡野 一男 議員

議員

自治区長制度の位置づけと業務の委託内容について尋ねる。

市民生活部長

市民生活の利便と行政運営の円滑化を図るために、この制度を設置した。主な業務は、月2回の広報紙配布等の定期的業務と、必要に応じて実施する調査等の不定期業務がある。

議員

自治区の再編を実施して、受持ち世帯のばらつきは解消されたか。

市民生活部長

平成21年は242自治区だったが平成27年は217自治区に再編された。令和3年度は最小自治区7世帯、最大自治区572世帯であり今後も適正化を図っていく。

議員

自治区への加入率とその対策は。

市民生活部長

加入率は約71%である。転入者に対して、自治会加入のチラシを配布している。

議員

広報等の配布業務は直接市が行うべきではないか。

質問

自治区長制度の新たな制度構築を考えるべきではないか

答弁

地域コミュニティ基本指針を策定中である

市民生活部長

自治会組織の高齢化、加入率の低下等により、業務の維持を不安視する意見もある。配布業務の現状についてアンケートを実施しており、この結果を基に今後の取組みを検討していく。

議員

自治区長制度を規定する規則は45年前に作られ、当初の目的は達成できたと感じている。少子高齢化になり、自治区加入率が71%、外国人登録者が9%を超えることから、自治区制度を解体する等、現実に合った新たな組織を模索するべきではないか。

市民と共に考える課長

地域コミュニティ基本指針を策定して、地域コミュニティ組織を構築していく。協働の観点からも市と地域が一体となったまちづくりに取り組みたい。

議員

行政業務は連続性が基本だが、政策は時代が作るもの、時代の流れの中で変わっていくものである。最初に立ち上げるのも決断、変えることも決断である。

岡野議員の
質問動画

